令和３年度第５回府中市農業振興計画検討協議会　議事録

▽日　時　令和３年１０月１４日（木）　午前１０時００分から午前１１時００分
▽会　場　府中市役所　北庁舎３階　第３会議室
▽出席者　委員側　　中島会長、市川副会長、平田委員、岩本委員、角田委員、池田委員、川崎委員、佐々木委員、高橋委員（９名）
　　事務局側　髙野産業振興課農政担当主幹、加藤産業振興課農政係長、中村産業振興課農政係職員（３名）
▽欠席者　　なし
▽傍聴者　　なし

（開会）

事務局（加藤産業振興課農政係長）
　皆さんおはようございます。ただ今より令和３年度第５回府中市農業振興計画検討協議会を開催いたします。委員の皆様におかれましては、ご多用のところ本協議会にご出席いただきまして、ありがとうございます。

（※事務局　資料確認）

　それでは、協議会の開催に先立ちまして、事務局からご報告と説明をさせていただきます。
　まず、本日の委員の出欠状況についてです。本日欠席の委員はいっらしゃいません。委員９名全員にお集まりいただいておりまして、出席委員数が過半数に達しておりますので、府中市農業振興計画検討協議会規則の第４条第２項に基づき、有効に成立することをご報告させていただきます。
　次に、本日の会議の傍聴についてですが、市の広報紙及びホームページで傍聴の募集を行いましたが、応募者はございませんでした。
　それでは、次第に沿って進めてまいりたいと思います。会長、どうぞよろしくお願いいたします。

会長
　皆さん、おはようございます。今日が最後ということになりますけれども、次第に沿って進めていきたいと思いますので、まず、議題「（１）答申書（案）」について、事務局から説明をお願いいたします。

（※事務局　「資料１４　答申書（案）「府中市農業振興計画について」」を説明）

会長
　ありがとうございました。資料についてご説明していただきました。先ほども申しましたように、今日が最後の協議会となります。基本的に大きな修正というのは難しい部分がありますので、まず内容の確認というスタンスで会議を進めていきたいと思っております。その中で、まずは１

枚めくっていただいた後の計画素案から始めたいと思います。これまで皆さんから頂いた色々なご意見を受けて修正した箇所を朱書きで表していただいております。皆さんご自身が発言された部分で、修正の仕方が意図と違うといったことや、少し言葉が足りないのでこういう文言を付け加えてもらいたいなど、ご意見を頂ければと思います。どの箇所からでも結構ですので、ご意見等頂ければと思います。

私から２点、文章で気になった箇所があります。１ページの３つ目の○印の箇所ですが、「翌平成２８年度に閣議決定された同法に基づく「都市農業振興基本計画」では」とあって、都市農地の位置付けに関して「大きく方針転換され」と続き、その後ろに「来たる２０２２年問題への対応となる特定生産緑地制度の創設も含め」となっていますが、これは前後の文章が並列の意味だと思います。原因と結果ではないので、「され」とするとどちらにもとれるので、可能であれば「されるとともに」といったように、前後の関係が分かるようにしていただければと思います。

もう１点は、４ページの「概況」のところです。私がイメージしたぐらいの分量で加筆していただいているのですが、２段落目のところで、「市内の農地や農業者は都市化の波とともに減少を続けており」という文章から始まりますが、先に現状の農地の面積や生産緑地の状況、農家戸数や農業従事者数などを伝えた上で、現状の動きとしては減少という内容を説明できればいいのかなと思いました。府中市の農業の現状と課題の章なので、課題には触れたほうがいいと思いますが、最初に「減少を続けており」と書くと、その後ろの文章とつながりがあまりがよろしくないかなと思いました。これについては皆様のご意見があれば伺いたいのですが、いかがでしょうか。

委員

「市内の農地や農業者は都市化の波とともに減少を続けており」というのは、一番最後にもってきたらどうですかね。最後に、市内の農地や農業者が減少を続けている点が課題として結ぶかたちでいいのではないでしょうか。

委員

農地や農業者が減少している状況については、すぐ後の項目２以降でも述べられているので、ここはあくまでも概況ということで、「市内の農地や農業者は都市化の波とともに減少を続けており」という一文を落としてもいいのではないかとも感じました。

会長

今のご意見のように、「２　農地」以降のそれぞれの項目で課題が具体的に出てきているので、概況説明としてはこの文章を削除するだけでも問題はないかと思います。そのほうがバランス的にはよさそうですね。

委員

私も同じで、冒頭で後ろ向きな内容が無くてもいいかなと思います。もしも最後に全体状況を入れるとすれば、市内の農地や農業者は都市化の影響を受けつつも特色ある農業経営をされているとか、しっかりと農業が営まれているという形で収めていただくといいのかなと思いました。

会長

概況のところに関してご意見を頂きましたけれども、「都市化の波とともに」の箇所は削除する

のを前提に、こういう現状ではあるけれども農業に関しての活動は十分になされているという内容を最後に入れるか入れないかについては、事務局の判断に委ねたいと思います。
　そのほか、いかがでしょうか。

委員
　質問になりますが、資料の中の表で、「年度」で表示されているところもあれば、「年」で表示されているところもあって、これは資料の出典などによって使い分けているのでしょうか。またはあまり意味は無く、書き分けているわけでは無いということでしょうか。意味があれば別にそれでいいのですけれども、よく分からなかったもので教えてください。

会長
　ありがとうございます。確かにこれは迷うところですね。例えば１４、１５ページを見開きで見ていただくと、１４ページの表１３は「年」で表されていますが、１５ページの市内の農業用水組合に関しては「年度」で書かれています。事務局からご回答をお願いします。

事務局（加藤産業振興課農政係長）
　「年」と「年度」で使い分けておりまして、この計画で使っている数字の多くが、１月１日現在の状況でお答えくださいという農業経営調査というものを府中市で行っていて、その結果の数値を使用しています。そうしたものについては、「年」で表させていただいております。その他、国の調査なども１月から１２月を基準に調査をしているものは「年」をそのまま使っております。

会長
　調査の実施主体などによって、年度でやっている調査と年でやっている調査があって、「年」と「年度」の表記については意図を持って使い分けているということですね。

委員
　分かりました、ありがとうございました。

会長
　そのほか、いかがでしょうか。今ご指摘いただいたような、読み手の側としての疑問点なども含めてお願いいたします。

委員
　計画書の中に、挿し絵や写真などをせっかくですから空いている箇所などに入れていただけるといいと思いました。どうしても文字が多くなってしまうのですけれども、イメージを持ってもらうというのも大事だと思いますので、ご検討いただけるといいと思いました。７ページの空いている箇所などで、白黒になったとしても府中農業がこんなふうに営まれているという姿があるほうがいいなと思いました。

事務局（加藤産業振興課農政係長）
　最終的に市の計画として策定して、冊子を作成しますので、その段階で写真などが入れられる

ように検討したいと思います。白黒印刷になるので写真の色が潰れてしまってどうしてもいまいちということであれば難しいですが、検討したいと思います。

委員
　よろしくお願いします。

委員
　前回の会議での意見を受けて今回挿入していただいた多面的機能のところは、文章中心の全体構成とマッチした形で上手に挿入され、十分わかりやすくなったと思います。その上で、親しみを持って読んでもらえるように考えるのは大事だと思いますので、普及版を作られるとか冊子をカラーにできるとか、そうしたときに絵柄や写真というのは読まれる皆さんに訴えるように感じますので、予算が許せばですけれども、ご検討いただけたらと思います。

会長
　ちなみに、総合計画はホームページからダウンロードできますが、農業振興計画もホームページからダウンロードできるようになりますよね。その場合、計画書に写真を入れた場合というのはカラーになりますか。

事務局（加藤産業振興課農政係長）
　写真を入れた場合にホームページに掲載するデータはカラーということになると思います。冊子につきましては、申し訳ないのですが今年度の予算としてモノクロ印刷でしか予算計上しておりませんので、印刷物としては白黒のものとなってしまうということでご了承ください。

会長
　それではそのようにご理解いただければと思います。
　そのほか、いかがでしょうか。

委員
　３１ページに、簿記講習会のことを追加していただきましたが、「【東京都農業会議】」が抜けているのと、順番としては「認定農業者等への営農支援」という箇所の次に加えていただくほうがありがたいかなと思います。加えて、最近相談として多いのが、事業継承のことや後継者さんのことだったり、貸借のことだったりというのがあって、そうした経営相談が入っていてもいいかなと感じました。新規就農者の研修などは東京都さんの役割となっていますが、新規に就農される方と農地所有者の方のマッチング的なことや、事業継承をどうするのかということのご相談だったりも増えてきているので、そうした事業継承や経営相談という内容を追加していただけるといいと思いました。「魅力ある農業経営」の箇所で入れてもいいかとも考えましたが、流れからすると「担い手の確保・育成」のほうでいいかなと感じたところです。よろしくお願いいたします。

会長
　ありがとうございます。
　そのほか、いかがでしょうか。

委員
　３８ページの大きい１の(２)の令和３年の農家戸数が４３７戸となっていますが、８ページを見ると４１７戸になっていて、どちらが正しいのでしょうか。

事務局（加藤産業振興課農政係長）
　ご指摘ありがとうございました。大変恐縮ですが４３７が誤りで、４１７が正しい数値です。修正します。

委員
　もう１点、２０ページの「うね売りのあっせん」の箇所で、農産物が「ジャガイモ」、「ネギ」というように片仮名表記されていますが、４ページの表では平仮名表記となっていたり、全体的に見て平仮名・片仮名の表記が揺れているのが少し気になりました。
　もう１点、１７ページの、一番下のほうで、「イ　７１パーセントの農家が現状維持」という表題になっていますが、本文では「７１．０％」に修正されていて、そこで修正しているなら表題も合わせて直したほうがいいのではないかなと思いました。

会長
　ありがとうございました。野菜の名称の平仮名と片仮名、あと数字の小数点以下の表記の件について、統一することはできますか。

事務局（加藤産業振興課農政係長）
　野菜の片仮名・平仮名表記が揺れているということについては、一度全部見直して整理したいと思います。
　１３ページの、小数点以下の表記をどうするかということについては、本文は分析的な文章なので小数点以下まで表しています。表題のほうは、小数点以下が「．０」であったこともありますが、敢えて小数点以下まで書かずに「７１％」としています。そのため表題の方は直していないのですけれども、「．０」まで表題のほうでも書くということであれば、そのようにしたいと思います。

会長
　そろえたほうがいいですか。

委員
　１３ページのほうは、今回本文が直されていたので気になっただけなので、そんなに深い意味はないです。

会長
　では、この部分は今のご意見を踏まえた上で、事務局のほうで判断させていただくということで、よろしくお願いします。
　そのほか、いかがでしょうか。

委員

５５ページ以降の用語解説のところで、法律などについて括弧書きで年を入れていただいたのですが、年だけだと制定年か施行年か分からないので、制定か施行かを入れていただくといいと思いました。また、法律ではない用語にも括弧書きで年を入れていただいていますね。

会長

法律は制定ですね。あと、年を入れるなら法律がメインなのかとは思っていましたので、「生産緑地」という言葉だけなら、年は入れなくてもいいですよね。

委員

もし「生産緑地」の解説に入れるとすれば本文に「何年に改正された」というのを入れてしまうこともできますね。

会長

５５ページの「市街化区域・市街化調整区域」に関しては、確かに１９６８年なのですけれども、これは改正都市計画法において市街化区域と市街化調整区域との「線引き」がされた部分なので、本文の中で「改正都市計画法（昭和４３年)」というようにしていただいてもいいかなと思います。そうした一定のルールに則って修正していただければと思います。

そのほか、いかがでしょうか。

委員

４ページの「生産されている主な農作物」の一番下の「その他花卉」は、「卉」が漢字になっていますが、１６ページの(オ)の表題では「花き」と平仮名になっていて、本文中の組合名では漢字になっています。意味があって使い分けているのでしょうか。

事務局（加藤産業振興課農政係長）

私共は通常、「かき」というときに漢字の「卉」を使っているのですが、市役所のルールの中で、市民向けの文章では常用漢字しか使えないため、「卉」の字は使えません。ただし、固有名詞の時は常用漢字以外も使用することができることとなっており、１６ページではこのような形になっているのですが、４ページの表も含めて固有名詞は漢字、固有名詞以外は平仮名というように統一したいと思います。

会長

そのほか、いかがでしょうか。

大体よろしいですか。もし何かありましたら、後でメール等で事務局へ連絡頂ければと思います。

それでは、この計画素案に関しては、ただ今頂いた意見を踏まえ、それを反映させた上で了承ということでよろしいでしょうか。また、本日のご意見の反映に当たって、今後の答申書の調整につきましては、事務局と会長、副会長に一任とさせていただければと思いますけれども、よろしいでしょうか。

（※委員　了承）

　ありがとうございます。
　それでは、次の議題に移りたいと思います。「イ　答申書の付帯意見の確認」についてです。資料１４の表紙のページです。項目１の付帯意見は答申書に盛り込まれる定例的な文言というご説明でしたので、本協議会としての実質的な付帯意見は項目２の、副会長からご提案いただいた、中間年度での計画の見直しに関する内容となっています。この内容に関して、文言を含めて何かございましたら、ご意見頂ければと思います。もちろん項目１のところに関しても、何かありましたらよろしくお願いします。

委員
　中間見直しを行いますということは、この本文の中では、必要に応じて見直しを行っていきますみたいなことは入れないものですか。

事務局（加藤産業振興課農政係長）
　計画書の本編の中に入れないのかという意味合いかと思うのですが、今回は８年間の計画という前提なので、中間で見直すということについては、計画の外側の付帯意見の位置付けにしました。

委員
　分かりました。

委員
　今の件で確認なのですけれども、８年間の計画を策定するという諮問だったということでよろしいですか。

事務局（加藤産業振興課農政係長）
　はい。

会長
　そのほか、何かございますでしょうか。こちらの答申の付帯意見に関しましても、原案の内容で決定ということでよろしいでしょうか。

（※委員　了承）

　ありがとうございます。
　それでは、本日の議題につきましては以上となります。
　次に「３　その他」につきまして、事務局からお願いいたします。

事務局（加藤産業振興課農政係長）

それでは、まず農政担当主幹の髙野より、皆様にご挨拶をさせていただきます。

事務局（髙野農政担当主幹）

本日、これをもちまして本協議会も最後ということになりますので、一言ご挨拶させていただきます。

委員の皆様には、ご多忙の中、本年６月２９日の第１回協議会から数えまして、本日までの全５回の協議会におきまして、毎回大変ご熱心にご論議いただきまして、誠にありがとうございます。おかげさまをもちまして、本市の新たな農業振興計画の素案となる答申書を取りまとめることができました。

今後の動きでございますけれども、来週２１日に、会長と副会長から高野市長に対しまして、答申書をご提出させていただくこととなっております。これを受けて、市といたしましては、議会への報告やパブリックコメント等の所定の手続を進めまして、３月末までに正式な市の計画として策定する予定でございます。

来年度からは、新たに始まる第４次府中市農業振興計画に基づいて、「地域と共存し、未来へつなぐ　魅力あふれる府中の農業」の実現に向けて邁進してまいりますので、どうか皆様方におかれましては、今後とも変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げまして、簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。皆様、どうもありがとうございました。

事務局（加藤産業振興課農政係長）

それでは、今後のスケジュール等につきまして、改めてご説明をさせていただきます。

まず本日、ご了承いただきました答申書につきまして、事務局のほうで内容の最終調整をして、会長、副会長にご了承いただいた上で、１０月２１日に会長、副会長から市長のほうへご提出をしていただく形になります。

その答申を受けて、主幹からのご挨拶の中でも触れましたように所定の手続を経て、来年３月までには市の計画としての最終決定を行う予定でございます。また、完成しました計画書の冊子につきましては、委員の皆様にも送付させていただく予定でございます。

最後に、これまで委員の皆様には様々な貴重な意見を頂きまして、また、多大なご協力を頂きましたことを重ねてお礼を申し上げます。どうもありがとうございました。

事務局からは、以上でございます。

会長

ありがとうございました。今、事務局からご説明ございましたけれども、何か質問等はございますでしょうか。

ないようでしたら、以上で本日の予定は全て終了となります。

今回、６月からの合計５回皆さんにお集まりいただいて、色々なご意見を頂きながら、第３次を踏まえて、第４次計画の策定に関してご議論いただきました。

毎回１時間半くらいの会議を予定しておりましたが、それを超えて本当に色々な視点から議論いただいたことで、非常に充実した内容の計画ができたと思います。

その点に関して、改めてお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

今日で閉会となりますが、最後に一言ずつ感想で結構ですので、順番にコメントを頂ければと思います。副会長からよろしいですか。

副会長

副会長ということで、会長のご指導や皆さんのご協力により進めてくることができました。本当にありがとうございます。農業委員という立場で資料を見させていただきまして、本市の農業の課題などを改めて確認できたと思います。これからの農業委員会の活動の中で少しずつできることをやっていきたいと思っております。どうもありがとうございました。

委員

何も分からぬままに参加させていただきましたが、市の計画や答申書というのが、こういう過程を経てできているということを知ることができたことは、いい経験になりました。また、府中市の農家の皆さんが、色々なことを考えているということを知ることができたことも、私にとってとても意味があったと思っています。これからも府中市の農業がどうなっていくのか影ながら見守り、農産品を買って貢献できたらと思っています。短い間でしたけれども、ありがとうございました。

委員

私も仕事上では事務局側に立つことがあるので分かりますが、市の職員の皆さんもかなりご苦労されながら、こういった計画を立てているのだということを、改めて実感する機会になりました。ありがとうございました。

また、これまで１つの行政区に深く関わるということがあまりなかったので、こういった計画の策定や協議会に参加させていただいて、今後の関わり方といったところも、改めて色々なところで伝えていけるかなと思います。私共の組合員さんも、府中市の方がたくさんいらっしゃいますので、そういったところでうまく農業と関わる、またはそこをつなぐ立場として広めていきたいなと思っております。この度はどうもありがとうございました。

委員

日頃、市の農業に対して掘り下げて考える機会などはなかなかない中で、今回、皆さんとこのような会議に参加させていただいて、まずは自分が現状を知らないということを痛感し、そして勉強になりました。私も今、市内の農家さんと農産物を販売したりといった企画もしているので、今回なかなか発言できなかった分を取り返す意味でも、魅力あふれる府中の農業のために、これから動いていきたいと思います。引き続き農家の方と一緒に頑張っていきたいと思います。短い間でしたけれども、お世話になりました。ありがとうございました。

委員

会長をはじめ、事務局の皆さんも大変お疲れさまでございました。私共ＪＡも農業振興計画を策定していて３年間で更新しているのですけれども、今ちょうど作成をしているところですので、農協としても府中市の計画に添った形で作っていきますので、よろしくお願いいたします。市の計画は令和４年から１１年までの８年間ということですが、絵に描いた餅にならないように、行政とＪＡとで協働しながら、地域の農業の活性化を図っていきたいと思っております。また、皆さんの様々なご意見を聞かせていただいて、大変貴重な体験ができました。ありがとうございました。

委員

大変いい勉強をさせていただいて、ありがとうございました。事務局の皆様には、私たち委員の発言をきちんと受け止めて、計画の中に盛り込んでいただいて、大変ありがたく思っております。特に前回リクエストさせていただいた「府中市の農業の概況」の挿入について、時間が無い中でもリクエストに応えて追加作成していただいたことについては、ありがたく思っております。府中市の農業には、他に誇れること、自慢できることがたくさんおありでいらっしゃるので、市民の方たちもこの計画書をご覧になって、府中で生産されている農産物がこうして並んでいるのを見て、府中では今でも米が作られているなど、そういうことが話題にできるのではないかなと思います。

農業会議は、市や農業委員会事務局の皆様にも支えていただきながら、一緒に東京の農地を守り、また農業者の皆様の経営を支えるために、１つでもお役に立つことができるように活動しておりますが、なにはともあれ農家さんがしっかりと農業を担い、それを市民の方たちが後押しされているということが進んできているということで、こういう協議会で様々な立場からのご意見を伺えるということが、何よりも大事だと思っております。そういう意味で大変ありがたい機会を頂きました。府中のこれからのことについて、農業委員会の皆様とお話を進める上でも、市の農業を盛り立てていらっしゃる現場の方たちとお会いできたことは、大変貴重だったと思っております。これを機会にぜひ今後ともよろしくお願いしたいと思います。どうもありがとうございました。

委員

事務局の皆様、様々意見を交わす中で一緒に考えていただきました委員の皆様、私は初めてこうした協議会の場に参加させていただいて、色々と勉強をさせていただきました。ありがとうございます。

私は府中市の農工大出身なので、すごく思い出のある市だったのです。２３区で育って、初めて来た多摩地域というのが府中市で、大学生活も楽しく送らせていただいて、本当に思い入れのある市です。仕事に就いてからも病害虫の調査で府中の農家さんも周らせていただいたりする中で、府中の農業というイメージが深まっていたので、府中の農業の一ファンとして資料を読んだりなど、楽しく参加させていただきました。事務局の皆様にも、リクエストしたことをしっかりと計画に反映していただいて、本当にありがたいなと思いました。ほかの地域でこうした協議会に参加させていただくときにも、今回の機会を糧としてより良いものができるよう努めてまいりたいと思います。皆様、ありがとうございました。

委員

私は府中に来て４０何年経ちます。最初は違う職業だったのですけれども、農業をやることとなり、今ではどっぷりと農家の一員です。農協の女性部のリーダーをずっと長くやっていて、色々な経験をしてきました。学校に行って食育の勉強をしたり、子どもたちとの活動などもしましたが、府中市に来る人たちは、緑が多いことに惹かれてなど、農業に関心がある方が結構多いです。だから、それをもっと生かしていけたらいいと思います。

ただ、相続で農地が年々なくなってきています。それをいかに守っていくかというのが、これからの課題だと思うのですけれども、府中市は住みやすく交通の便もいいところなので、どうし

ても住宅のほうが優先されやすい。うちの農地も住宅に囲まれた中の畑です。先祖代々の農地を守っていくために、日々一生懸命やっていますが、農業というものは奥が深くて、去年やったことが今年は全然役に立たなかったりなど試行錯誤で、先輩たちの意見を聞きながら毎日農業に取り組んでいます。農地を守っていくためにどうすべきなのか、それを皆さんと一緒にこれからも考えていきたいと思います。色々とお世話になりました。ありがとうございました。

会長

最後に私からです。農村地域計画学という研究室で、中山間の条件不利農地をどうしていくのかといったことや、鳥獣害対策をどうしていくのかといったことをやっています。普段の研究の中では、都市農業の実情というのに触れることがないため、今回は皆さんの色々なお話をお伺いして、大変勉強になりました。

学生は、府中に通っている又は住んでいるということで、都市農業にも興味を持っていますが、都市農業を扱う研究をしている研究室や学科がありません。可能な限り私も授業の中で伝えてはいますが、今回の第４次計画ができ上がるプロセスをみると、第３次計画を受けてどういう議論をしていった中で、第４次計画ができたのかということが、議事録から読み取れます。これは、将来公務員になる学生やコンサルに勤める学生などにとって、非常に有益な資料になります。今回の経験を授業の中で学生に還元していきたいと思っております。

今回は全５回と限られた時間の中ではありましたが、非常に濃密な議論ができて、私自身もすごく勉強をさせていただきました。改めてお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

では、これをもちまして、本協議会を閉会とさせていただきたいと思います。どうもお疲れさまでした。

（以上）